

# ぽっかぽか うさぎ組



温かい日差しを感じる日が増えてきましたね。みんなで育てていたヒヤシンスも咲き誇り、「いい匂いだね」と嬉しそうです。うさぎ組で過ごす日も残りわずかですが、うさぎ組での生活を楽しんでそう組へ進級できたらと思っています！



## 「心も身体も大きく成長した子どもたちの様子」

進級当初に比べると着脱や排泄、食事など自分でできることがたくさん増えました。

「やって」と保育者と一緒に行っていた春。水遊びで着替えをする機会が増えてからは、「手伝って。ここからは自分でやってみる」と、出来る事が増えてきた夏。涼しくなり上着を着るようになってからは、「手伝う？」と聞くと「自分でやる」に変わってきた冬。最近では、食事の際に食べこぼしが減り、メニューによってエプロンを外して食事をしたり、汚れたら自分で着替えをしたり、靴・ズボンの前後左右の違いが分かって「合っている？」「これでいいよね」と確認しながら履くなど生活をする中で、身の回りのことを自分の意思でするようになってきている子どもたち。そんな姿に大きな成長を感じています。



## 「友達との関わりの変化」

個々での遊びから始まり、同じような遊びを同じ空間で行う平行遊びへ。そして今では積み木遊びやおままごと、ボードゲーム遊び、外でのしっぽ取りやかくれんぼなど様々な遊びを2～3人以上の複数の友達と一緒に楽しめるようになりました。

積み木遊びではただ並べて作っていた道に、お家やホテルや動物園やお店などを付けて街が出来上がったり、高い塔を作ったりとイメージした物を形にすることを楽しみながら遊ぶようになってきました。また進級当初は、大人とお話や、大人を通して友達と関わっていました。

困ったことがあると泣いて訴えたり、怒って手が出る事もありましたが、その都度、「こうしたいんだって」「こんな気持ちなの？」「こう話してみたら？」と気持ちの橋渡しをしたり、自分で伝える経験が出来るように支援してきました。今では自分のしたいことや感じたことを友達に直接話したり、相手の話を聞いてやり取りしたりする姿が見られるようになってきました。

更に、友達の気持ちを受け入れて「使っているから待っていてね」「こっちなら良いよ」と相手の気持ちを考えて話して解決する姿も見られています。

まだ大人の仲立ちが必要な場面もありますが、友達との関わりの中で色々な経験を重ね、さらに成長していけるよう見守っていきたいと思います！



いよいよ3月9日(月)からそう組での生活がスタートします！初めてのことがたくさんありますが、子どもたちの表情からは「そう組になる！」というわくわく感が伝わってきます！

クラスは変わりますが、うさぎ組担任一同、これからも子どもたちの成長を楽しみにしています！

1年間ご理解、ご協力頂きありがとうございました！

